

TEL 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339
メール info@minsyubungaku.org
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 -202

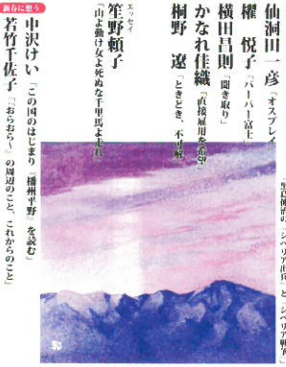
民主文学 2

月号から新連載スタート

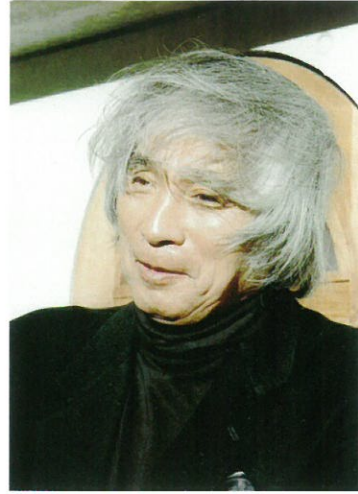
この機会に、『民主文学』をぜひご購入ください。

民主文学

1月号



窪島誠一郎くぼしませいいちろう
戦没画学生慰霊美術館 無言館「館主。一九四一年東京生まれ、著書に『交への手紙』筑摩書房）無言館ものがたり」講談社など多数。二〇〇五年無言館」の活動により第五十三回菊池寛賞を受賞、二〇一六年平和活動に与えられる第一回 澄和ラフォーテチャリスタ賞を受賞。



窪島誠一郎さんの魅力の新連載エッセイ！

無言館の庭から

信州の四季に重ねて、時代への思いを綴る。

筆者の言葉

信州上田の郊外に、日中戦争や太平洋戦争で戦死した画学生の絵を展示する美術館「無言館」をつくって早や二十一年になります。日々の経営に追われながら、時々講演や取材で都会を歩いて帰ってくるのですが、すさまじいばかりの時の流れと、ただひたすら経済効率と利便性を追いつめるとめる社会のありようが、何だかとても疎ましく思える昨今です。二十一年間の「無言館」暮らしが、ノホホンと戦後の経済成長を生きてきた私自身に、「このままで良いのか」という自省の時間をあたえてくれたのでしょうか。かねてより愛読していた「民主文学」に連載の誌面をいただきたいことは、私がこの「無言館」で考えていること、考えねばならぬことをもう一つ整理する機会をもらったことなのだと思っしています。遠去かる戦争の記憶と、漂流する現代日本の姿……遠い信州の丘からとどける私の定点観測記にご期待下さい。



★下の用紙を切り取って、FAXあるいは郵送でお申込ください。雑誌は直接ご自宅にお送りします。

<h2>購読申込書</h2>	申し込み	民主文学購読費 月額970円(送料込み)
	月 日	FAX番号 03(5940)6339
いずれかに○印をつけてください。 () 2月号より定期購読する。 () 「無言館の庭から」連載中のみ定期購読する。	お名前	ご住所 〒
	電話番号	